

【EMD.GR.JP 掲載のニュース】 (11月26日～12月8日分)

米 NETWORK COMMERCE、 米 LIQUID AUDIO を特許侵害で 提訴

米 NETWORK COMMERCE は、米 LIQUID AUDIO が同社の所有する特許を侵害しているとしてシアトル地裁に提訴したと発表した。

NETWORK COMMERCE が主張するのは米国特許番号 6,073,124。複数のサーバを用い、オンライントランザクション情報の整合を取るためにダウンロードコンポーネントを利用する電子商取引をユーザーに提供する技術。

NETWORK COMMERCE は、LIQUID AUDIO がこの特許技術を侵害しているとし、損害賠償および同社の技術を利用した LIQUID AUDIO のサービス停止を求めている。

これに対し、LIQUID AUDIO は NETWORK COMMERCE からの訴状を確認し、同社のサービスが NETWORK COMMERCE の特許技術を侵害していないと争う姿勢を見せている。

(12/8)

ソニー、NetMD 対応デスクトップオーディオシステムの発売を延期

ソニーは、2001年9月12日に発表した MD デスクトップオーディオシステム『LAM-Z1』『LAM-1』(12月10日発売予定)に関し、2002年2月21日に発売を延期すると発表した。

発売延期の理由としては、高温保存状態で製品テスト時に、一部の MD ドライブ部において書き込み時に不安定な動作が確認され、設計の見直しを行なうこととなった為、としている。

『LAM-Z1』『LAM-1』は「Net MD」対応 MD デッキと CD プレーヤーを搭載するデス

クトップコンボ。「LAM-1」は本体のみ、「LAM-Z1」はアクティブスピーカーをセットにしたモデル。

(12/7)

シャープ、NetMD 対応ポータブルレコーダーを発表

シャープは、MD の新規格「NetMD」に対応した MD ポータブルレコーダー < IM-MT880 (愛称: MD-J) > を発売すると発表した。発売日は 2001 年 12 月 17 日、価格はオープン。

IM-MT880 は、USB を用いてパソコンと MD 機器を接続するインタフェース規格「NetMD」に対応し、楽曲の著作権を保護しながらパソコン上の音楽データを MD に高速転送できる。

アプリケーションソフト「OpenMG Jukebox Ver.2.2 for SHARP」が付属し、保存した音楽データの再生、グループ別の登録などの編集、USB 接続した IM-MT880 への高速転送、曲名の文字入力など、多彩な操作が行える。

本体の USB 接続端子周辺には 7 色のグラデーション LED で、データ転送をひと目で確認できる「7色光ナビ」を採用。

携帯電話感覚で文字入力など全ての操作が可能なフルリモコン「2行表示液晶ナビリモコン」を採用。ディスクネーム、グループネーム(1行目)とトラックネーム、時間情報(2行目)の同時表示が可能なバックライト付き 2 行表示液晶により、ミニディスクの情報がひと目で確認できる。

電源にはニッケル水素充電電池を採用、約 10 時間録音、約 12.5 時間再生を実現。さらに高容量アルカリ単 3 乾電池 1 本との併用で、約 26 時間の長時間連続録音 / 約 33 時間の長時間連続再生が可能となっている(いずれも LP4 モード時)。

携帯電話感覚で本体を置くだけで簡単に充電できる「充電スタンド」が付属する。

(12/6)

ノキア、「モバイル IPv6 無線 LAN アクセス実証実験」を発表

ノキアは、小田急電鉄、京浜急行電鉄、森ビルの協力により、2002 年 2 月から IPv6 無線 LAN アクセスサービスの実証実験プロジェクトを行うと発表した。

モバイル IPv6 と呼ばれる無線 LAN を使った高速通信技術を利用した環境では、11Mbps の速さでコンテンツの配信が可能となり、どの場所においてもユーザーを認証し同じインターネット環境を提供することができる。

今回の実証実験は、通信・放送機構「情報家電インターネット技術研究開発」プロジェクトの委託先企業として、ノキア・ジャパンが「公衆ブロードバンド無線アクセスサービスに関する実証実験」の一環である「モバイル IPv6 無線 LAN アクセスサービス」のフィールドテストを実施するもの。

電車等公共交通機関の乗客を対象とする「モバイル IPv6@トレイン」(協力会社:小田急電鉄、京浜急行電鉄)および屋内公共エリアを対象とする「モバイル IPv6@ビルディング」(協力会社:森ビル)のフィールドテストを通して、システムの技術検証およびサービス検証を行う。

フィールドテストでは、ノキア・ジャパンが諸実験のシステム管理およびサポートを担当、小田急電鉄、京浜急行電鉄、森ビルがそれぞれモニターの募集はじめ実証実験の実施を担当する。

モニターの募集は 2001 年 12 月中旬から 2002 年 1 月中旬(予定)まで行われる予定。

(12/6)

音楽出版社、米 MUZE と業務提携両社の CD データベースを共有

音楽出版社は、情報サービス強化のため、米 MUZE 社との間で、双方が保有する CD データベース(CD タイトル、収録楽曲名、アーティスト名等)の共同利用で業務提携したと発表した。

音楽出版社は、1984 年に創刊した『CD ジャーナル』、及び『CD 総カタログ』で蓄積してきた国内発売 CD ソフト約 24 万タイトル

200 万曲以上の文字情報をデータベース化し、1990 年から CD ショップ等での業務用検索システムの開発など、CD 情報のデータサービスを手がけてきた。

一方、MUZE は 1991 年から米国内で流通する CD ソフト、ビデオソフト、書籍などの文字情報コンテンツをデータベース化、独自の端末機を使った検索システムを開発し、米国盤約 30 万タイトルと英・仏盤 19 万タイトルを蓄積し、これに書籍などの文字情報約 180 万書籍のデータを加えている。

この MUZE のデータベースはタワーレコードをはじめとするトランスワールド・エンタテインメントなどの全米の CD ショップや、バーンズ&ノブールなどの全米規模の書店で運用してきた。

さらに、ゲームソフトや、アーティスト情報などのコンテンツを充実させ、Amazon.com、ヤフー、アメリカン・オンライン、タワーレコード、ベストバイ、ヴァージン、MTVi、ボーダーズ、などの E コマースサイトへの情報提供も行っており、米国 CD データでは全米一のシェアとボリュームを誇っている。

今回の業務提携では、双方のデータベースを、日本語と英語双方の言語から互いに利用できるようにを目的としており、日本国内では海外盤情報を「日本語(カタカナ)でアーティスト検索」することなどが可能となる。

これにより、従来の海外盤 CD 検索で多かった繚りの間違いなどから開放され、海外盤情報検索に飛躍的な利便性をもたらすとしている。

音楽出版社では今後のサービス展開として、業務用 CD 検索システム『MUZE-HYSFY(仮称)』の開発、CD ショップでのインターネット・ショッピング『CupiD』への運用、i-mode、EZ-web での『海外盤 CD 検索サイト』の提供などを予定している。

(12/6)

MIS、秋葉原ラブロスで『街角無線インターネット』実証実験を開始

モバイルインターネットサービス(MIS)は、秋葉原ラブロス「クリックアンドブリック」において、2001 年 12 月 5 日より『街角

無線インターネット』実証実験を開始すると発表した。

実証実験の場所となる秋葉原ラブロスは東京都千代田区神田相生町 JR 高架下に位置する都内最大級のブロードバンドカフェ(座席数 90 席)で、スターバックス秋葉原店なども併設されている。

期間は 2001 年 12 月 5 日から 2002 年 3 月を予定している。

店舗内に PC 2 台を常設するほか、PC の貸し出しも予定している。

(12/5)

米 RealNetworks、デジタル音楽配信サービス「RealOne Music」を開始

米 RealNetworks は、統合型デジタルメディアソフトウェア「RealOne Player」と共に、デジタルメディア配信サービス「RealOne」、さらに MusicNet プラットフォームを利用した音楽配信サービス「RealOne Music」を開始したと発表した。

RealOne Player は、同社の RealPlayer と RealJukebox、それに Web ブラウザ機能を統合したソフトウェア。デジタルメディアのストリーミングやダウンロード、Web のブラウジング、オリジナル CD の作成、携帯プレーヤーとの接続など、デジタルメディアを利用するために必要な全ての機能を提供する。

RealOne Player は無料でダウンロード可能となっており、動作環境は Windows XP/98/2000/Me/NT。

RealOne サービスは、RealNetworks の会員制サービス GoldPass をベースに ABCNEWS.com や CNN などのニュース、FoxSports.com や LB Advanced Media、NBA などのスポーツ情報、E! Networks のエンタテインメント情報などが提供される。

月額料金は \$9.95。当初はトライアルサービスとして 14 日間無料で利用できる(クレジットカード番号の入力は必要)。

RealOne Music は MusicNet プラットフォームを利用した初めての音楽配信サービス。Arista、BMG、Capitol、Elektra、EMI、Jive、RCA、Virgin、Warner Bros.、Zomba という

メジャー、インディレーベルの全てのジャンルの楽曲をダウンロードやストリーミングで楽しむことができる。

このサービスを RealOne Player で受けることができるが、ダウンロードした楽曲の携帯プレーヤーへの転送はサポートされない。月額料金は \$9.95 で、ストリーミングで 100 曲、ダウンロードで 100 曲が利用できる。

また、RealOne Gold は月額 \$19.95 で RealOne、RealOne Music の両方のサービスを受けられるコース。RealOne Music で利用できる楽曲がストリーミング、ダウンロード双方で月 125 曲になる。

(12/5)

米 Listen.com、会員制音楽配信サービス「Rhapsody」を開始

米 Listen.com は、会員制音楽配信サービス「Rhapsody」を開始したと発表した。ユーザーは Listen.com で Rhapsody サービスに登録すると 3 日間無料で利用できる。

Rhapsody を利用するには、専用アプリケーションソフトウェアをインストールする必要があり、このアプリケーション上で月額固定料金のオンデマンドストリーミング、50 局のインターネットラジオ、Listen.com が提供するレビューにアクセスできる。

サービスの開始当初は 3 つのオプションコースも用意される。クラシック音楽の「Naxos Classical」が月額 5.95 ドル、ブルースやロックなどの広範なジャンルの試聴曲を利用できる「Sampler」が月額 5.95 ドル、この 2 つのコースを両方利用できる「Sampler Plus」が月額 7.95 ドルとなっている。

なお、専用アプリケーションソフトウェアは使いやすいインターフェイス、Listen.com が特許申請中の帯域効率化技術が搭載され、128 kbp の再生品質と高音質のストリーミングインターネットラジオが利用できる。また、現在はブロードバンド環境に最適化されているが、ダイヤルアップ接続にも対応する予定としている。

(12/4)

日立、次世代 AND 型フラッシュメモリセル「AG-AND」を開発

日立製作所は、同中央研究所および同デバイス開発センタと共同で、ギガバイト時代のフラッシュメモリ用に多値で高速書き込みを実現する次世代 AND 型フラッシュメモリセル「AG-AND(Assist Gate-AND)」を開発したと発表した。

多値とは、通常のメモリでは0/1の2つの値を記憶しているのに対し、'00'/'01'/'10'/'11'など4つ以上の値を持たせる技術で、チップサイズの縮小に有効な大容量フラッシュメモリに適しているとされている。

多値化技術は4つの値を持つ場合、1セルで2セル分の働きを実現する一方、2値のセルに比べて遅いと言う問題点があった。

今回発表されたセルは、セル構造にセル間の干渉を防ぐアシストゲート(Assist Gate)を採用した独自開発のフィールドアイソレーション(Field Isolation)方式を、書き込み方式にホットエレクトロン方式を採用する事により、多値のメモリセル構成でも高速書き込みが可能となった。

この技術により、マルチメディアカードなどの小型フラッシュカードが当面の目標としている0.13μmプロセスにおいて10Mバイト/秒の書き込みを実現できるとしている。

日立では、この技術を使ってギガビットクラスのフラッシュメモリおよびそれを使った各種フラッシュカードやシステムを製品化する予定。

(12/4)

ソニックブルー、Rio ユーザー向け音楽配信サービスを開始

ソニックブルーは、Rio デジタル・オーディオ・プレーヤーRio 600、Rio 800、および Nike ps[play 120、Nike ps[play 60 向けのデジタル音楽配信サービス「Rio Music Style」を2001年12月3日より開始した。

「Rio Music Style」は、Web サイトから直接 Rio にセキュアな WMA 形式の楽曲ファイルをダウンロードできる会員制のサービス。

会員登録は無料。サイトに接続した状態で Rio を PC に接続すると自動的に機種を認識し、ダウンロードが可能となる。会員は月々15曲まで無料でダウンロードすることができる。

サービスを利用するための動作環境は、OS が Microsoft Windows 98/2000/Millennium Edition (Me)、ブラウザが Internet Explorer 5.01 以降、再生プレーヤーとして Windows Media Player 7.01 以降がインストールされていることが必須となる。

現在のところ Maintosh 環境には対応していない。

提供される楽曲はピンク・フロイドや DJ KRASH など様々なジャンルの約70曲。楽曲は月ごとに更新される。

また、「Rio Music Style」では2002年前期中にも有償のデジタル音楽配信サービスを開始する。有償のデジタル音楽配信サービスでも著作権保護された WMA を採用し、一曲ごとのダウンロードに課金する方式や一定期間内の定額方式など複数のサービス形態を提供する予定。

なお、有償サービスが始まった後も、無償楽曲は提供されるとしている。

(12/3)

Dolby Lab.、AAC エンコーダーの新バージョンを発表

Dolby Laboratories は、Advanced Audio Coding (AAC)エンコーダーの新しいバージョンとして new AAC consumer encoder を公開、Liquid Audio と最初のライセンス契約を締結したことを発表した。

AAC consumer encoder は、放送機材などプロ用途に用いられる Professional AAC encoder を補うものとして、CD リッピングソフトウェア、HDD ジュークボックス、インターネットでの音楽配信システム、ポータブルプレーヤーなどデジタルオーディオ製品に組み込み用途として提供される。

Liquid Audio では、この new AAC consumer encoder を最初のライセンス取得者として2002年早々にリリース予定の

Liquid Player の次期バージョンに組み入れる予定。

new AAC consumer encoder の圧縮アルゴリズムは Intel アーキテクチャに最適化されており、Professional AAC encoder の4倍高速化されているとしている。

(12/1)

音楽電子事業協会、電子透かしを使った MIDI ファイル権利の管理運用を開始

音楽電子事業協会は、MIDI 音楽データの違法使用を抑制する標準 MIDI 電子透かし埋込ソフトウェア MIDI Sign と、データの権利管理情報を規定する International Standard MIDI Code (ISMC) 規格の運用を2001年12月1日より開始すると発表した。

ISMC 規格によって、MIDI 音楽データ個々に世界で唯一無二の番号を与え、製作者を特定することができるようになる。さらにその番号を MIDI Sign によって情報の改ざんがしにくい電子透かしとしてデータに埋め込む。

この MIDI Sign と ISMC 規格の普及により一般ユーザーから海賊版業者に至るまで、違法な使用の抑制を強めることができ、データ製作者はもちろん、作詞、作曲家の権利保護を促進し業界の健全な発展に寄与できるものとしている。

ISMC 番号の管理運営は音楽電子事業協会が行い、違法使用者への警告なども権利者と連携することを想定している。また、海外での MIDI 規格団体である MMA (MIDI Manufacturers Association) とも、この「ISMC」を世界標準規格とすることで協議に入っているとしている。

事業者、権利者にとって、MIDI Sign と ISMC 規格利用のメリットとしては以下のようものがあげられている。

- 1) JASRAC ネットワーク課に支払う著作物使用料の5%減額
- 2) 違法使用を摘発した場合、ISMC がデータ製作者を証明する重要な証拠となる
- 3) 違法使用者への警告は音楽電子事業協

会、同会員企業、JASRAC の連携で行う
4) 第 2 層透かしと掛け合わせて利用することが可能
5) ロゴマークの使用

なお、4) の第 2 層透かしに関しては以下の企業（商品名）を推奨している。

- ・エム研 (acuaporta)
- ・M-ZoNE (Lip Sign)
- ・日本ビクター (Music Sign)
- ・ヤマハ (Mid Stamp)

(11/30)

米 MoodLogic、SONICblue と戦略的提携を締結

米 MoodLogic は、SONICblue と戦略的提携を締結、Rio に対して同社のソフトウェア "MoodLogic" をライセンスすると CEO 自らが同社サイトのフォーラムで発表した。

MoodLogic は HDD 内の MP3、WMA ファイルを整理するソフトウェア "MoodLogic Client" とインターネットを利用したネットワークサービス "MoodLogic Network" から構成される。

Client は自動的に HDD 内を検索し、インターネット経由で楽曲情報を獲得、ジャンルや曲調など様々な項目を採用した分類によるプレイリストが自動的に生成される。

MoodLogic Client は現在 版がダウンロード可能となっている。次世代バージョンで Rio600/800、Nike psa をサポートする。

この次世代バージョンでは Rio プレーヤーを USB で接続すると自動的に Client にタブが追加され、そこからワンクリックでプレーヤーへ楽曲ファイルの転送ができるようになる。

なお、具体的なリリース予定などは明らかにしていない。

(11/29)

米 Rioport、音楽配信サービスに会員制を追加

米 Rioport は、同社の提供している音楽配信サービス "PulseOne Service" に会員制サービスを追加、2002 年初頭から小売りサイトを

通じてサービスを開始すると発表した。

Rioport は 2001 年 4 月に 5 大メジャーレーベルと楽曲配信に関するライセンス契約を結んでおり、PulseOne Service として、既にストリーミングや 30 日間有効のダウンロードサービスと言ったプロモーションサービス "try-it"、有料ダウンロードサービス "buy-it" を提供している。

この PulseOne Service に会員制サービス "rent-it" を追加し、BestBuy.com、Hewlett-Packard、MTV.com、VH1.com、HOB.com、Radio Free Virgin、SONICBlue といった大手小売りサイトや音楽専門サイトに提供していくとしている。

(11/29)

日本通信、コンシューマー向けモバイルデータ通信サービス事業を開始

日本通信は、DDI ポケットの PHS パケットデータ通信の大口利用（卸売）を利用した一般コンシューマー向けデータ通信サービス「b モバイル・プリペイドサービス」を 2001 年 12 月 1 日から開始すると発表した。

「b モバイル・プリペイドサービス」は、PCMCIA タイプの専用データカードと 1 年間のつなぎ放題のインターネット接続料・データ通信料のパッケージをプリペイド方式で全国の家電量販店などを通じて販売される。

パッケージは「つなぎ放題接続」ができる時間帯の違いにより、「24 時間プラン」、「ナイトプラン（20 時～翌朝 8 時）」、「ミッドナイトプラン（23 時から翌朝 6 時）」の 3 種類。価格はいずれもオープンプライス。

通信スピードは、当初 32kbps（ベストエフォート）でスタートするが、2002 年春（予定）の 128kbps のサービス開始と同時に、現状の 32kbps 対応の端末を 128kbps 対応に無償でグレードアップ可能となっている。

また、ネットワークには「アクセラレーター機能」が搭載されており、b モバイル・プラットフォームに「アクセラレーター・サーバー」を追加することにより、Web ベースのコンテンツを圧縮して受信可能される。圧縮さ

れるコンテンツとしては、HTML/XML のテキストや GIF/JPEG 画像などが対象となり、平均 30% 程度圧縮される。

日本通信によれば、これによりベストエフォート 32kbps の通信スピードを最大 50kbps 相当で、128kbps サービス移行時には最大 200kbps 相当の通信スピードで利用することができるとしている。

b モバイル・データサービスは、DDI ポケットの通信ネットワークを使い、日本通信の b-mobile プラットフォームを経由してインターネットに入るため、別途、他のプロバイダと契約する必要はない。その代わり、メールサービス及びホームページサービスは提供されないが、他のプロバイダ利用しているメールアドレス（無料メール含む）をそのまま利用することができる。

(11/28)

ソニーファイナンス、IC カードを利用したクレジット決済サービスを発表

ソニーファイナンスインターナショナルは、インターネット上で、非接触 IC カードを使った安全かつ簡単なお支払いを可能にするサイバー専用の新しいクレジットサービス "eLIO (エリオ)" を 2002 年 4 月から開始すると発表した。

eLIO ではソニーの非接触 IC カード関連技術 "FeliCa (フェリカ)" を採用。利用者はインターネット上で買物をする際、パソコンに USB 接続したリーダ/ライタ "パソリ" (カード会員にソニーファイナンスが有償提供予定) に IC カードをセットするだけで決済が可能となり、従来のようにカード番号などの入力力は不要となる。

IC カードを使用しているため、カードの偽造、改ざん等の不正行為が極めて困難とされる。また、カードのオーソリゼーションには IC チップ内のみ書きこまれている eLIO 独自のカード識別情報を用いるため、カード番号が他人に盗まれるリスクが低くなっている。

さらに、カード情報のデータ伝送は加盟店を経由せず、利用者とソニーファイナンスと

の間で直接行われるため、カード番号の悪用などのリスクはほとんどない。

また、オーソリゼーション時の eLIO 加盟店とソニーファイナンスとのインターフェースにはソニーファイナンスが開発したクレジットカード決済代行システム"e-SCOTT(イー・スコット)"を利用し、加盟店の希望に応じ本人認証の精度を高める「認証アシスト機能」もオプションで提供可能となっている。

"eLIO"機能を搭載するクレジットカードには、書き込みが自由で、記憶容量が大きいという IC カードならではの特徴を生かし、"Edy(エディー)"、身分証明証、入出退管理、チケットなど、eLIO 以外のサービスを付加することが可能であり、1 枚のカードで複合的なサービスが提供できる。

ソニーファイナンスは、"eLIO"加盟店の募集と、同提携カード発行事業者の開拓を行っていくほか、自社でも"eLIO"機能を搭載した独自クレジットカード「ソニーカード(仮称)」を 2002 年 4 月から発行する予定。

「ソニーカード(仮称)」では、コンビニエンスストアやネット上でのデジタルコンテンツなどの少額課金に適した、ビットワレットが推進するプリペイド型電子マネー・サービス"Edy"機能および、リアルな場でのクレジットによる支払いが可能な"VISA"機能が付加される。

ソニーファイナンスでは、3 年後(2005 年)に"eLIO"加盟店数(サイバー)2 万店、提携カードも含めたカード発行枚数 2 百万枚の普及を目指すとしている。

(11/28)

イーヤマとケンウッド、ノート PC とミニコンボのセットモデルを発表

イーヤマとケンウッドは、軽量、薄型のノート型 PC と高音質の本格オーディオをドッキングしたパーソナルコンピューターシステム「AVENUE(アベニュー)MPX-710」を 2002 年 2 月より発売すると発表した。価格はオープン。

PC 部は薄型、軽量で抜群の機動性を持つ B5 ファイルサイズ。CPU には Transmeta の Crusoe 5800(800MHz)を採用。また、LAN

端子を標準装備し、各ブロードバンドインフラに対応、大容量データの高速ダウンロードも可能となっている。

オーディオ部は PC 部とテイストを合わせたメタリックでシャープなデザインを採用。アンプ部は本格的なセパレートアンプ方式を採用し、ラジエーションノイズを抑えた高音質再生を実現している。タンデムで装備された 2 つの 12 cm メディアドライブ部は DVD-ROM ドライブと CD-R/RW ドライブ、本体下部に装備された MD 部は新規格「Net MD」対応となっている。

この 2 つは USB2.0 で接続され、PC 部からオーディオ部は外付けドライブとして認識される。また、PC アプリケーションソフトとして、ケンウッド・ジオビット製の「StageMaster」を搭載。Net MD や DVD 再生ソフトの起動、各種音楽圧縮フォーマットの作成と再生、音楽用 CD-R/RW の作成など、あらゆるデジタルメディアを利用することができる。

両社では「AVENUE」を「Designed Music PC」と銘打ち、PC の新しい楽しみ方と可能性を提案としている。その一環として製品詳細サイト avenue.jp を開設、2002 年 1 月 1 日より本格始動し、先行予約の受付も行う予定。

(11/28)

情報通信審議会、総務省に対して「CDMA2000 1xEV-DO」の技術的条件を答申

総務省は、情報通信審議会から、「CDMA 高速データ携帯無線通信システムの技術的条件」及び「次世代移動通信方式(CDMA/FDD)の無線設備の技術的条件」について、答申を受けたと発表した。

今回取りまとめた CDMA 高速データ携帯無線通信システムの技術的条件は、スイスで開催された ITU 無線通信部門第 8 研究委員会での国際標準とする勧告が採択された CDMA2000 1xEV-DO を念頭に置いたもの。

この技術により、最大 2.4Mbps の高速データ伝送が可能となり、現行の CDMA 方式の携帯電話(800MHz 帯、データ伝送速度 64kbps)に加え、CDMA2000 方式の

IMT2000(2GHz 帯、データ伝送速度 144kbps)とも親和性が高く、並存してサービスの提供が可能としている。

また、通信状況に応じてサービス品質が変わる点を特徴としており、フィールド試験では静止環境で 1Mbps 超、走行環境で約 800kbps のセクタースループットを実現したという。

総務省は、今回の答申を受けるかたちで省令を改正する。1xEV-DO をベースとするサービスは KDDI グループが計画しており、2002 年末にも商用サービスを始める予定。

(11/27)

NTT、PHS と無線 LAN に対応できるソフトウェア無線機を開発

NTT は、低速度 PHS と高速・広帯域の無線 LAN の双方に対応するソフトウェア無線機を開発したと発表した。

ソフトウェア無線とは、1 台の無線機をソフトウェアの書き換えによって機能変更し、さまざまな無線方式に対応可能とする技術。

今回、NTT 未来なっと研究所が開発したソフトウェア無線機は、従来のソフトウェア無線技術が、プロセッサが処理できる帯域の制限によって狭帯域(数 100kHz)の時分割多元接続(TDMA)方式を用いる PHS しか対応できなかったのに対し、新たに考案されたフレキシブルレート・プリポストプロセッサ(PPP)によって、広帯域(約 20MHz)のスペクトラム拡散技術を用いる無線 LAN にまでも対応した。

これによって第 2 世代の移動通信システムからより高速・広帯域の第 3 世代移動通信システム、そしてさらに広帯域の無線 LAN までも 1 台でカバーできる無線端末が実現できる。

これら複数の通信方式を、環境に応じて切り替えて接続するシームレスなモバイル通信が可能となり、ユーザニーズ(速度、料金)に応じて経済的なサービスを自動選択できるようになる。さらに海外では、その国の無線方式のソフトウェアをダウンロードすることで利用可能になる。

また、無線回線を介して新しいソフトウェ

アをダウンロードしたりソフトウェアのバージョンアップを行い、端末のデバッグや新機能を追加することもできるとしている。

今回発表された試作機はまだデスクトップPC程度の大きさであり、NTTでは今後、現在の携帯端末なみのサイズに小型化、低消費電力化するための研究開発を進めていく予定としている。

(11/26)

【EMD プレーヤー 2001 年秋冬モデル一覧】 -追加-

イヤーマ&ケンウッド 「Avenue」

MPX-710



記録媒体：MD
対応圧縮方式：MP3（可変ビットレートにも対応）、WAV、AIFF
サイズ：61.8x102x19.9mm
重量：185g
メーカー希望小売価格：オープン
発売日：2002年2月

PC部は薄型、軽量で抜群の機動性を持つB5ファイルサイズ。CPUにはTransmetaのCrusoe 5800（800MHz）を搭載。

オーディオ部はPC部とテストを合わせたメタリックでシャープなデザインを採用。タンデムで装備された2つの12cmメディアドライブ部はDVD-ROMドライブとCD-R/RWドライブ、本体下部に装備されたMD部は新規規格「Net MD」対応。

この2つはUSB2.0で接続され、PC部からオーディオ部は外付けドライブとして認識される。

PCアプリケーションソフトとして、ケンウッド・ジオビット製の「StageMaster」搭載。

シャープ MD ポータブルレコーダー IM-MT880



記録媒体：MD
対応圧縮方式：ATRAC3
サイズ：78.9x15.7x71.9mm（USB接続部周辺などの突起部除く）
重量：約105g（本体のみ）
メーカー希望小売価格：オープン
発売日：2001年12月17日

USBを用いてパソコンとMD機器を接続するインタフェース規格「NetMD」に対応。

アプリケーションソフト「OpenMG Jukebox Ver.2.2 for SHARP」付属。本体のUSB接続端子周辺には「7色光ナビ」を採用。

携帯電話感覚で文字入力など全ての操作が可能なフルリモコン「2行表示液晶ナビリモコン」を採用。

電源にはニッケル水素充電電池を採用、約10時間録音、約12.5時間再生を実現。さらに高容量アルカリ単3乾電池1本との併用で、約26時間の長時間連続録音/約33時間の長時間連続再生が可能（いずれもLP4モード時）。

本体を置くだけで簡単に充電できる「充電スタンド」付属。

EMD Magazine 第10号

発行 2001年11月10日

発行所 音楽配信関連情報サービス

責任編集 宮腰 温

レイアウト 株式会社アイビルダース